|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 番号 | 見出し／本文 | やさしい日本語 |
| 33 | 清掃作業時の注意点 | をするときにすること |
| ①傷口からの感染  ◯予防策 ・丈夫な手袋や底の厚い靴などを着用しましょう。 ・長袖など肌の見えない服装を着用しましょう。  ◯ケガをした場合 ・傷口を流水で洗浄し、消毒しましょう。 ・特に深い傷や汚れた傷は「破傷風」になる場合があるため、医師に相談しましょう。 ＊破傷風は傷口に破傷風菌が入り込んでおこる感染症で、医療機関で適切な治療を行わないと、死亡することもある病気です。  ②土埃への対応 土埃が目に入って結膜炎になったり、口から入って喉や肺に炎症を起こすこともありますので、目や口を保護することが重要です。  ◯予防策 ・ゴーグルとマスクを着用しましょう。 ・作業後には手洗いをしましょう。  ◯目に異物が入った場合 ・目を洗浄しても充血が起きている場合は、医師に相談しましょう。 | ①けがをしたところから、いがります  ◯いがらないようにする  ・なをして、のいをきしましょう。  ・できるだけやがえないようにしましょう。  ◯けがをした  ・でよくってから、しましょう。  ・きいやれたは「」というになるかもしれないので、にしましょう。  ＊は、ぬこともあるとてもいです。  ②からやをる  がにるとになることもあるので、やをることがです。  ◯がやにらないようにする  ・ゴーグルとマスクをしましょう。  ・をしたは、よくをいましょう。  ◯にかった  ・をってもがくなっているは、にしましょう。 |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 番号 | 見出し／本文 | やさしい日本語 |
| 33 | 清掃作業時の注意点 | 掃除（そうじ）をするときに注意（ちゅうい）すること |
| ①傷口からの感染  ◯予防策 ・丈夫な手袋や底の厚い靴などを着用しましょう。 ・長袖など肌の見えない服装を着用しましょう。  ◯ケガをした場合 ・傷口を流水で洗浄し、消毒しましょう。 ・特に深い傷や汚れた傷は「破傷風」になる場合があるため、医師に相談しましょう。 ＊破傷風は傷口に破傷風菌が入り込んでおこる感染症で、医療機関で適切な治療を行わないと、死亡することもある病気です。  ②土埃への対応 土埃が目に入って結膜炎になったり、口から入って喉や肺に炎症を起こすこともありますので、目や口を保護することが重要です。  ◯予防策 ・ゴーグルとマスクを着用しましょう。 ・作業後には手洗いをしましょう。  ◯目に異物が入った場合 ・目を洗浄しても充血が起きている場合は、医師に相談しましょう。 | 1. けがをしたところから、悪（わる）い菌（きん）が入（はい）ります   ◯悪（わる）い菌（きん）が入（はい）らないようにする  ・丈夫（じょうぶ）な手袋（てぶくろ）をして、底（そこ）の厚（あつ）い靴（くつ）を履（は）きしましょう。  ・できるだけ腕（うで）や足（あし）が見（み）えないようにしましょう。  ◯けがをした場合（ばあい）  ・水（みず）でよく洗（あら）ってから、消毒（しょうどく）しましょう。  ・大（おお）きい傷（きず）や汚（よご）れた傷（きず）は「破傷風（はしょうふう）」という病気（びょうき）になるかもしれないので、医者（いしゃ）に相談（そうだん）しましょう。  ＊破傷風（はしょうふう）は、死（し）ぬこともあるとても怖（こわ）い病気（びょうき）です。   1. 土埃（つちぼこり）から目（め）や口（くち）を守（まも）る   土埃（つちぼこり）が目（め）に入（はい）ると病気（びょうき）になることもあるので、目（め）や口（くち）を守（まも）ることが重要（じゅうよう）です。  ◯土埃（つちぼこり）が目（め）や口（くち）に入（はい）らないようにする  ・ゴーグルとマスクをしましょう。  ・掃除（そうじ）をした後（あと）は、よく手（て）を洗（あら）いましょう。  ◯目（め）に何（なに）か入（はい）った場合（ばあい）  ・目（め）を洗（あら）っても目（め）が赤（あか）くなっている場合（ばあい）は、医者（いしゃ）に相談（そうだん）しましょう。 |